

◇標準塗装仕様書◇

(既存塗膜フッ素樹脂塗料塗替)

AGCコーテック株式会社

◇工法名	ボンフロン770-HBSR工法(塗替)				
◇適用素地	既存塗膜 ルミフロン系フッ素樹脂塗料 (無機系素地)				
◇使用材料	下塗	ABF#770プライマー		14.0	kg/缶
	中塗	ボンフロン#1000HB中塗	主剤	15.0	kg
		ボンフロンシンナー	硬化剤	3.0	kg
	上塗	ボンフロン#1000SR上塗	主剤	12.5	kg
ボンフロンシンナー		硬化剤	2.5	kg	
			16.0	ℓ/缶	

工程	使用材料	調合 主剤:硬化剤	希釈率 (%)	標準所要量 ^{注1} (kg / m ²)	塗 回数	塗装間隔(23℃)		施工方法	
						工程内	工程間		
素地調整	高圧水洗、脆弱部及び劣化塗膜の除去(活膜は残す) 活膜部は表層目荒し(サンドペーパー#180~230)								
1	下塗	ABF#770プライマー	-	既調合	0.10 ~ 0.15	1	-	16h以上 ~ 7D以下	刷毛 ローラー エアレス
2	中塗	ボンフロン#1000HB中塗 主剤 / 硬化剤 = 15 / 3	15 : 3	ボンフロンシンナー 10 ~ 40	0.13 ~ 0.18	1	-	16h以上 ~ 7D以下	刷毛 ローラー エアレス
3	上塗	ボンフロン#1000SR上塗 主剤 / 硬化剤 = 12.5 / 2.5	12.5 : 2.5	ボンフロンシンナー 10 ~ 30	0.14 ~ 0.17	1	-	-	刷毛 ローラー エアレス
合計						3			

注1) 標準所要量については、各種施工方法の塗着効率を下記として算出しております。

施工種	塗着効率(%)
刷毛, ローラー	80~100
エアレススプレー	60~80
各種吹付けガン	50~70

注2) 塗装工事における留意点については「塗装工事における留意点」を参照ください。

※(強・弱溶剤型塗料共通)
※(素地:無機系素地)

注3) 旧塗膜と新規フッ素樹脂塗料の適合表

新規塗膜	旧塗膜		ルミフロン系フッ素樹脂塗料 (硬質タイプ)	カイナー系フッ素樹脂塗料 (硬質タイプ)	・その他仕上げ塗材 ・複層仕上げ塗材
	下塗	上塗り			
ABF#770プライマー		水性フッ素樹脂塗料	○	-	-
		弱溶剤フッ素樹脂塗料	○	-	-
		強溶剤フッ素樹脂塗料	○	-	-
ABF#720プライマー		水性フッ素樹脂塗料	×	×	×
		弱溶剤フッ素樹脂塗料	-	-	-
		強溶剤フッ素樹脂塗料	-	●	-
ボンサーフェーサーE		水性フッ素樹脂塗料	×	-	○
		弱溶剤フッ素樹脂塗料	×	-	-
		強溶剤フッ素樹脂塗料	×	-	○
ボンHBサーフェーサーR		水性フッ素樹脂塗料	○	-	○
		弱溶剤フッ素樹脂塗料	○	-	-
		強溶剤フッ素樹脂塗料	○	-	○

○: 適合

●: 試験塗装による塗膜密着性確認が要

×: 不適合

—: 未確認